



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第438号

敬老の日を迎えられた方々を前にして思うこと

フランシスコ・アジジ 谷口尚志

あらためて敬老の日を迎えられたすべての方々に敬意と感謝の気持ちをお伝えしたいと思えます。本当におめでとうございます。これからも、父なる神に信頼してキリストが示した生き方をもって私たちを導いて下さるよう、神父、信徒一同、心からお願い申し上げます。

私にとって幼少期、少年期、青年期に過ごしてきた多くの時間は祖母によって支えられてきたと言っても過言ではありません。平日は父も母も共働きの日々で、特に私が青年期に入った頃には母は教育現場の管理職に就くことで多忙を極めていたため、私たちの就寝後に帰宅する日々も度々でした。そのような状況下にあって祖母は食事や洗濯だけに留まらず、懸命に両親の代わりに努めようとしてくれていたと思えます。私は中学生から大学2年生までの間は修道院におりましたので、実際は長期休暇中だけ実家に滞在していたのですが、献身的な祖母の姿は今でも脳裏に焼き付いています。姉と妹は私より長く関わっていたので鮮明に覚えているでしょう。今は帰天した祖母を天の父が祝福し、終わりのないのちへ招き入れて下さることを心から願い、時折、思い起こして祈っています。

教皇フランシスコは今年の祖父母と高齢者のための世界祈願日にあたって発表したメッセージのなかで、「今日は、多くの人が、できるだけ自足した、他人と接点のない生活において自己実現を図ろうとしています。仲間意識が危機に瀕し、個人主義がもてはやされています。・・・家庭は、自分の力だけで自分を救うことができるという考え方に対する、第一の、そしてもっとも基本的な反証であり、こうした個人主義的な文化の犠牲になっているものの一つです。けれども歳を取り、次第に力が衰えていけば、だれも必要ではない、人とのつながりなしに生きていける、という個人主義の幻想は、その実態を露呈するのです。まさに、自分には何もかもが必要になっていると気づい

聖地の花・・・・・・・・・・・・・・・・	2面
思い出に残った韓国巡礼旅行・・・・	3面
幼稚園から・・・・・・・・・・・・・・・・	4面
花岡山巡礼バス旅行・・・・・・・・	5・6面
委員会等報告・・・・・・・・	6・7・8面
お知らせ・・・・・・・・	8面

ても、もはや独りとなっていて、助けもなく、頼れる人もいないのです」と述べています。私の祖母は信者ではありませんでしたので、生前、信仰的な感覚を分かち合うこともなかなか実現せず、また、もともと祖母自身があまり社交的ではなく、気兼ねなく話せる友人と呼べる人が周囲にいなかったこともあり、加えて、家族の皆は祖母の思いに応えられるほどの余裕も持ち合わせていなかったため、結果、祖母に孤独を味わわせてしまっていたということです。「あばあちゃん、あの時、何もしてあげられずごめんなさい」。

水巻教会の小教区委員会では、今年から「敬者の祝い」を「豪華なふれあい会」という名称に変更することで、“個”から“仲間”を意識したものにすることを決定しました。水巻教会のこの一つの動きが個々人を動かし、全員が信者の家庭、一部が信徒の家庭など、高齢の方々を取り巻く環境は異なってはいても、その方々が教会共同体の横の繋がりの中で信仰生活を深めるきっかけとなりますように。また、この動きを一つのきっかけとして信仰生活を送る価値を再発見し、孤独に陥らずに神さまと教会とに繋がり続けることができますように。さらに、これからの家庭、社会、国、世界を担っていく、いわゆる若い世代を励まし、彼らを待ち受ける未来に希望を打ち立てる手伝いのできる者となることができますように。これからも、主任司祭としてそのための奉仕ができますように。



聖地の花

海老津地区・松永 貴美子

花が好きで私の目についたエリゲロン、和名ペラペラヨメナの表紙。聖地という憧れもあって読んでみました。

写真や動画でしか見たことがない聖地イスラエルの地。エルサレム、ベツレヘム、ヘブロン、エリコ、ナザレ、ガリラヤ、ベタニア…。おそらく乾燥した荒れ地に咲く花々、しかし色鮮やかに、深い緑の葉は思ったより湿潤な風土であったのかもしれない。

37種類の花の中には、ツルボ、ルピナス、チューリップ、クロッカスなどの近くの野原や花壇に咲いている花々もあるのです。

花の芯から神様がのぞく…

花は美しい花に、神の姿を見ると記されています。

「聖書植物考」が出版されたのが明治の頃。そして今、ミサ後、ふれあい会のお茶をいただく場所の傍で並べられた本の中から「聖地の花」に巡り合うことができたのは、私への幸せなお恵みです。





思い出に残った韓国巡礼旅行

8月18日から21日まで韓国に行ってきました。イ神父様の納骨されているところに行ってお祈りしたり、キム・テゴン神父様が生まれ育った家に行ったりしました。

キム・テゴン神父様は2021年にユネスコ世界人物にせい定されたと聞きおどろきました。

韓国でおどろいたのは、運転席が逆なことやナンバープレートが長細いことそれにコンサートの形が違うことなどたくさんありました。残念なことに私は韓国料理が口に合わず、そうめんやお茶漬けがとても食べたくまりました。でもとても楽しい旅行でした。

海老津地区 樽角 友祈

まず、第1日目に明洞大聖堂に行きました。中はとても広くておいのりをしている人もたくさんいました。大きなキム・テゴン神父様などの絵も飾られていました。

その後に、COEメモールのなかにあるCOEメアクアリアムに行き、モールのお店でごはんを食べました。

次の日にはロッテワールドで1日遊びました。すごく大きなしせつで楽しかったです。

翌日はキム・テゴン神父様の生誕地とクルーズに乗りました。全部楽しかったので、また行きたいです。

折尾地区 宮本 絹佳





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 10月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

長い夏休みも終わり、無事に二学期を迎えました。6日には園児引き渡し訓練を行いました。避難前には、ホールに集まり、実際におにぎりの非常食を食べました。災害時の連絡手段や園児の引き渡し方法を、保護



者の皆様と職

員で体験することができました。保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。まだ暑い日が続いていますが、運動会の練習では、優しい心と身体をたくさん使って、楽しみながら、取り組んでいます。



TEL : 093 201 9559

e-mail : ccontactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



9月になり、朝夕少しだけ涼しい風を感じますがまだ暑さのため戸外活動ができないのが残念です。やりたいと思う二人の子どもが、昼食の食卓の準備をしています。エプロンと三角巾を着け、ランチョンマットの上にお茶碗、お椀、お皿等を1つずつカゴに入れて運んでいます。1テーブルが終わったら次のテーブルをします。

6日に大きな地震を想定した、園児引き渡し訓練がありました。職員はヘルメット、子どもは防災頭巾を被ってマリアの畑に避難しました。靴も園で準備した靴を履きました。泣く子どももなく、全員無事に保護者の方に引き渡すことが出来ました！



TEL : 050 5212 7759

[https : www.mariahouseofchildren.jp](https://www.mariahouseofchildren.jp)

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同



広がった直方・水巻の輪・花岡山巡礼バス旅行

9月23日直方・水巻教会合同の「熊本・花岡山巡礼」バス旅行が行われました。コロナ禍後、水巻教会の巡礼旅行は昨年の「山口・萩」に引き続き2回目、直方教会との合同巡礼旅行は初めてのことでした。参加者は水巻40人、直方13人でした。

予定より少し早い午前7時ころ水巻教会を出発、7時半前に直方教会で乗り合わせ一路熊本へ。途中、広川SAでトイレ休憩。さらに高速を飛ばし、この日お世話になる手取教会を目指しました。手取教会でしばし休息ののち聖堂で御ミサが行われました。司式は谷口神父様と手取教会の申神父様(助祭)がとられました。侍者には直方教会から3人が出てくれました。ミサ後、昼食。

さて、いよいよ目的の花岡山へ出発です。目的地までの道は道幅が狭いため花岡山のふもとまでしか行けず、あとは徒歩。徒歩に自信のない方は手取教会の方が車を出してくださり二手に分かれての巡礼となりました。

巡礼地は小笠原玄也とその一家の墓碑。小笠原玄也は細川藩の重職にあった方でその妻「マリアみや」が小倉の地で殉教した加賀山隼人の娘でした。江戸時代末期の文政年間、この地で「加賀山隼人正息女墓」と刻まれた墓碑が発見され、ここに殉教した小笠原玄也一家11人と奉公人4人が葬られました。キリシタンとして葬られた、キリシタンの墓が功として残っているのはこの墓だけだそうです。この墓の横には玄也一家の名が刻まれた殉教碑がたっています。

ここで記念写真を撮り、手取教会にいったん集合。その後帰路へ。

手取教会の方々には、手厚いもてなしを受けました。また往復ともバスの中は和気あいあい、直方・水巻の親睦の輪が大きく広がったひとときでした。

海老津地区 山口 一隆



前日までの悪天候も回復し、暑さも和らぎ心地よい天気の中で巡礼旅行に参加しました。手取教会は熊本市の大通り沿いの中心地にあり、鉄川与助氏の建設した教会堂と外庭の「日本の聖母」像が迎えてくれました。



熊本地震の時には聖母像が地震の衝動で台座より動いてしまい、斜め方向にズレてしまったままになっているそうです。

また、隣のホテルの宿泊者が外庭にまで避難してきたと聞き、改めて地震の恐ろしさを感じました。

殉教者墓地の花岡山へは徒歩で行きました。私は今回の巡礼旅行に参加するまで小笠原玄也一家のことを知りませんでした。

キリシタン弾圧が厳しさを強める中、再三の主君の転宗のすすめを拒否し、信仰を貫いた人。

現代社会で信仰に生きることは難しいですが、もっと厳しい時代を生きた殉教者に思いをさせ、思い新たに信仰を深めていけたらと思いました。

折尾地区 大原洋子

委員会等報告

2024年9月分

9月度小教区委員会 9月1日

1. 行事予定

- ・10月 6日(日) 11時～ミサ
ミサ後～小教区委員会
- ・10月 13日(日) 9時～ミサ
ミサ後～教会学校、こころの会
- ・10月 14日(月) ディエゴ 加賀山隼人殉
教記念ミサ 10時～小倉教会
- ・10月 20日(日) 11時～ミサ
ミサ後～教会学校
18時～ベトナム語ミサ
- ・10月 27日(日) 9時～ミサ
ミサ後清掃、ワックスかけ

- ・11月 8日(金) 抱樸支援のための炊出し

2. 議題

(1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

① 広報委員会

- ・特になし

② 典礼委員会

・9月16日(月) 16時より典礼委員会を行う(待降節の準備、聖歌隊との連携の確認など)。

・再度、事情を考慮したうえで、聖堂内の座席は基本的に内側から詰めて座っていただくことの周知を促す(遅れてくる人のため)。

③総務委員会

・特になし

④財務委員会

・特になし

⑤営繕の部

・聖堂建立にあたって植えられた記念樹の記念碑を新しいものに交換した。香舟が破損したために修理した。ミスト発生器は現在故障中。桜の木の剪定を計画中。

⑥納骨堂管理の部

- ・9月7日(土)、平瀬シヨル氏の納骨。
- ・9月15日(日)、田中正人氏の納骨。

⑦冠婚葬祭の部

・特になし

⑧北九州地区宣教司牧評議会

・8月12日(月)、北九州地区聖書講座(子どもの平和の集い)が行われ、子どもたちの参加者は約30名、保護者、スタッフ合わせると約50名が集まり、盛況だった。聖書講座自体も30名ほどが集まった。

(2)直方教会&水巻教会 合同巡礼旅行(9月23日)について

・9月1日(日)現在、水巻教会と直方教会あわせて53名が参加(注文数を確定するために9月1日(日)と9月8日(日)に呼びかけ、弁当の有無の確認を)。

・9月15日(日)ミサ後、巡礼についての説明会(参加者だけに限らず)。なお、その際に参加費を集める。※直方教会では9/22(日)に行く。

・参加費は一人/2000円。※弁当を持参する場合は一人/500円。

(3)敬者の祝いについて 9月29日(日)

・39名が参加希望。今年度より、「敬者の祝い」⇒「豪華なふれあい会」と呼ぶことにする(普段の主日ミサ後に行っている「ふれあい会」の延長として位置づけ、主日ミサ、信徒どうしの横の交流が深まっていくことを目指す。参加、食事の有無を確認したうえで、何らかの形での食事会を準備し、皆で交流できる時間とする)。よって、いわゆる「お祝い」の要素はミサの中でのメッセージや祝福を願う祈りなどに組み込むようにする。
※対象者への手紙も準備しない。

・今年度の予算は4~6万円。

(4)「からしだね」の発行について

・「からしだね」は水巻教会における諸活動(教会としての司牧活動)を伝える公の教会報なので(小教区委員会規約 第九条を参照)、その内容が小教区委員会で話し合われた内容と異なった内容が掲載されてはならないし、個人的な意見を述べる場になってはいけない。そもそも、「からしだね」は小教区委員会が広報委員会に一任して発行されているものなので、今後、「からしだね」をより良いものにするため、以前提案した、発行する前の「編集会議」を開き、そこでの内容に基づいて編集と発行作業を進めてもらうよう、小教区委員会として広報に携わっている関係者各位に提案することになった。

そのため、まずは一度、小教区委員会から数名が主任司祭とともに編集会議の準備を行う「準備会議」を開き、編集会議の内容や進

め方を整理する。※「準備会議」には主任司祭、委員長、大原、赤石、浜村が出席。

(5) その他

・8月25日(日)ミサ後に折尾・高須青葉地区の地区集会が開かれ、26名の参加が得

られた。掃除のマニュアルを作ったらどうか、からしだねの部数を増やして欲しい、意向ミサの依頼についてなどの話が出た(※意向ミサの依頼に関することは2024年8月号を参照)。



★特別献金★

8月15日 聖母の被昇天
22,341円
9月29日 世界難民移住移動者の日
24,391円
ご協力ありがとうございました。

★教会ワックスがけ★

日 時：10月27日(日) ミサ後
ミサ後(この日のミサは9時からです)
に教会聖堂と信徒会館のワックスがけを行います。たくさんの人手がいりますので、皆様の参加をお願いします。

★ディエゴ加賀山隼人殉教記念ミサ★

日 時：10月14日(月) 10時から
場 所：小倉教会

★新しいミサ曲の練習★

今月から水巻教会ではミサ曲 A と B を交互に歌っていきます。ミサ曲は C までありますので、その練習をしていきたいと思っています。今後、練習をしていきますので、参加をよろしくお願いします。

★10月のこころの会★

10月のこころの会は、第4週の27日ではなく、第2週の13日に行います。

人 - ひ と

【帰天】安らかに！

8月17日
◇ルチア 平瀬 シヨルさん
(海老津地区)

台風11号 母国の被害へのカンパ 岩本光弘

台風11号は中国南部に上陸し、ベトナム北部を通過してミャンマーに抜けました。すでに国際報道などで報道がありましたが、各国でかなりの被害が出ました。特にベトナム北部の被害はひどく、首都ハノイでも植木が倒れたりしています。その上、死者・行方不明者が300人以上います。

15日のベトナム語ミサでは母国の被害者のためにカンパを行いました。今月の参加者は先月より少なかったのですが、53,600円集まりました。ベトナム語ミサのチェン神父から母国に送って貰うことになりました。